

ちから水から上の急登はバテバテで、5m 進んではストックにすがって休み、また 5m 行つては... の状態。完バテではなく足が前に出たので、じわじわと高度を稼げたが、今思うともうあんな山登りはしたくない(年だし)。ここで助けられたのが、スマホアプリの「YAMAP」。アプリの地図を使えば、携帯の電波が届かない山中でも現在位置を確認できるので、丹沢の溪で使い始めていた。今日は岩魚留から現在位置確認を始め、もうまいったなというところで位置確認すると小屋まで100m弱。雨の降る中での位置情報は、折れそうな気持ちを最後のひと踏ん張りに持って行ってくれた。最後は地形図から予想していたイメージに反して、16:38 ややきつい登りからポンと小屋前に飛び出した。

小屋には男女合わせて 7・8 人の宿泊客が歓談しており、ずぶ濡れの自分は幕営の手続きとアルコールの購入(幕営料 700 円、ビール 500ml 800 円、清酒 大雪溪カップ 500 円)。

前日はテントが 4・5 張りあったと聞いていたが、今日は自分の 1 張りのみ。かじかむ手で設営して早々にもぐり込んだ。乾いた衣類に着替え、ビールで喉の渴きを癒したが、すぐに寒くなり、今度は「大雪溪」を熱燗で。これは身体に染みわたり、人生最良の熱燗と思えたほど。晩飯は、暖かいものが欲しかったので予備食として持ってきたカップヌードル リフィル(詰替え・カップのないやつ)で済ます。一日を振り返り、早立ち(2 時間早く)すべきだったなあと反省しきり。19 時過ぎ、疲労でうなりながら就寝。



徳本峠小屋



3 日目徳本峠幕営地

【9月21日:4日目】 雨

寒さと雨音で何度も目を覚ましながらか、04:45 起床。体が冷えているので暖かいものが欲しく、再びカップヌードル リフィルとドリップコーヒーで済ます。今日は上高地に下山するだけなので急ぐことは無い。しかし、雨も上がる気配がないので、雨具をつけて撤収。雨を吸ってテントはさらに重くなり、ザックが肩に食い込む。08:00 徳本峠をあとにした。明神までの道は下りなので軽快にいきたいところだったが、荷が重く時々立ち止まって息をつく。



明神分岐



明神館とコナシ(ズミ)

09:20 明神着。下山中に暖かい蕎麦が食べたくなり、明神館で少々高いと思いながらも天ぷら